

「地域計画作成のための地元協議開催（笠置町）」

京都府 笠置町農業委員会

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

○ 農業委員	:	1人
○ 農地利用最適化推進委員	:	0人
○ 事務局職員	:	2人
○ 関係団体（名称のみ）		
○ 市町村行政との連携状況		



2 地区の特徴、状況、課題

- 笠置町の中央を木津川が貫流しており、木津川の両側には急峻な山が迫っている。
- 木津川の南側をJR関西線が走り、笠置山は後醍醐天皇が拳兵、籠城した場所として知られている。
- 農地は、木津川の北側に走る国道163号と山裾の間に、带状に水田が広がり、畑地は山間部に点在している。



3 委員による継続した話し合いの取組内容

町内の一部の行政区において、地域計画について地域協議をおこなった。地域計画作成には地元に根ざした耕作者の意向や現況を把握することが肝要であり、協議の場には約15名ほどが参加され、今後の農地の在り方や展望について農業委員会委員と直接、意見交換等を交えて合意形成を図った。

協議の場には、地元耕作者はもちろんのこと、農業委員会委員や事務局をはじめ、農業会議の当町を担当する現地推進役にも参画いただき幅広い意見集約に努めた。

4 成果（地域計画の実行に向けた取組内容）

本町を取り巻く農業の在り方については、高齢化や担い手不足、それに起因した維持管理の困難等さまざまな課題が見えてきた一方で、将来にわたって維持したい農地も目標地図に落とし込むことにより、可視化することができた。

また、先般農業者に個別に送付したアンケートについても顔を合わせながら説明を行うことで、アンケートの精度を高めることにもつながった。

※事例候補（地区連絡会議の単位が望ましい）の選定や作成にあたっては、農業会議の現地推進役と相談してください